

機械器具 58 整形用機械器具
一般医療機器 脊椎手術用器械 70963001

Mont Blanc MIS スパイナルシステム 手術器械セット

【禁忌・禁止】

〈併用医療機器〉

当社指定以外のインプラント及び手術器械と併用しないこと [相互作用の項参照]。

【形状・構造及び原理等】

1. 形状・構造

以下の手術器械の全て又は一部を組み合わせたセットである。

代表的写真	原材料
カニューレテッドスクエアオウル 	ステンレス鋼 シリコーン
カニューレテッドタップ 	ステンレス鋼
スクリューエクステンダー 	ステンレス鋼
ポリアクシャルカニューレテッドスクリュードライバー 	ステンレス鋼
ロッドゲージ 	ステンレス鋼
ロッドホルダー 	ステンレス鋼 シリコーン
アドバンスドロッドホルダー 	ステンレス鋼 シリコーン
インターナルロッドホルダー 	ステンレス鋼 シリコーン
ロックスクリューホルダー 	ステンレス鋼
アウターロックスクリュー用タイティングシャフト 	ステンレス鋼
ロッドパシェーダー用スレッドコネクター 	ステンレス鋼
ロッドパシェーダー用シャフト 	ステンレス鋼
ロッドパシェーダー用ノズル 	ステンレス鋼

カウンターハンドル 	ステンレス鋼 シリコーン
トルクリミッター 	ステンレス鋼 シリコーン
スクリュードライバーシャフト 	ステンレス鋼
スクリューエクステンダー用コネクションガイド 	ステンレス鋼
スクリューエクステンダー用ディスクコネクター 	ステンレス鋼 ポリプロピレン
アンロックレンチ 	ステンレス鋼
ストレートハンドル 	ステンレス鋼 シリコーン
T 型ハンドル 	ステンレス鋼 シリコーン
ローター（※非医療機器） 	ステンレス鋼 ポリプロピレン
コンプレッサー/ディストラクター 	ステンレス鋼
フルクラム 	ステンレス鋼
スクリューエクステンダー用ロックングリング（※非医療機器） 	ポリフェニルサルホン
ロッド把持鉗子 	ステンレス鋼

インプラントの手術手技書を必ずご参照ください

ロッドベンダー 	ステンレス鋼
トライアルロッド 	ニッケル・チタン合金
ロックスクリューホルダー, ガンタイプ 	ステンレス鋼
カウンタートルクレバー, XL 	ステンレス鋼 シリコーン
ダイレーター1 	ステンレス鋼
ダイレーター2 	ステンレス鋼
ダイレーター3 	ステンレス鋼
ダイレーター4 	ステンレス鋼
コンプレッサー, Mont Blanc MIS 用 	ステンレス鋼
ペディクルオウル 	ステンレス鋼 ポリアミド
ペディクルプローブ 	ステンレス鋼 ポリアミド
ペディクルサウンダー 	ステンレス鋼

2. 原理

組み合わせて使用することで、インプラントを挿入、固定、抜去する。

＜ダイレーター＞

脊椎手術において、挿入により術野を拡張する。

＜コンプレッサー, Mont Blanc MIS 用＞

ハンドルを握ると先端が閉じ、対象物に圧迫力を加える。

【使用目的又は効果】

脊椎固定術等の脊椎手術のために用いる再使用可能な手動式の手術器械である。

【使用方法等】

1. 使用前の準備

使用前に、必ず洗浄及び滅菌を行う。各医療機関等でバリデーションされた滅菌方法及び滅菌条件を用いる。
（【保守・点検に係る事項】参照）

2. 使用方法

使用方法については、インプラントの手術手技書を参照する。

＜コンプレッサー, Mont Blanc MIS 用＞

本品の先端をペディクルスクリューと連結したスクリューエクステンダーにあてがい、徐々にハンドルを握ることで椎体間のコンプレッションを行う。

＜ペディクルオウル、ペディクルプローブ、ペディクルサウンダー＞

- 1) ペディクルオウルを用いて骨を穿孔する。
- 2) X 線透視下でペディクルプローブ及びペディクルサウンダーを用いて骨を穿孔し、スクリュー刺入孔を作成する。

3. 組み合わせて使用する医療機器

「販売名：Mont Blanc MIS スパイナルシステム、承認番号：30100BZI00011000」、「販売名：Mont Blanc MIS ディスポキルシュナーワイヤー、認証番号：303ADBZX00056000」と併用する。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- 1) 使用前の点検において、手術に必要な器具が全て揃っていることを確認すること。
- 2) 本品は未滅菌のため、使用前に必ず【保守・点検に係る事項】の項を参照して、洗浄及び滅菌を行うこと。
- 3) 本品は、使用前に目視検査し、腐食、裂孔、変色等の異常が認められる場合は、使用しないこと。
- 4) 本品に過度な力や急激な力を加えないこと。
- 5) 本品がハイリスク手技に使用された場合には、プリオン病感染予防ガイドラインに従った洗浄、滅菌を実施すること。（【保守・点検に係る事項】参照）
- 6) 本品がプリオン病の感染症患者への使用及びその汚染が疑われる場合には、製造販売業者又は貸与業者に連絡すること。
- 7) 使用後は速やかに洗浄及び滅菌を行い、清潔な場所で保管すること。

2. 相互作用

併用禁忌（併用しないこと）

医療機器の名称等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
当社指定以外のインプラント	インプラントの緩み、摩耗等の発生のおそれ	適正な固定が得られない

3. 不具合・有害事象

- 1) 重大な不具合
 - ・破損、変形、腐食、変色、屈曲
- 2) 重大な有害事象
 - ・アレルギー反応
 - ・感染症
 - ・神経損傷
 - ・硬膜損傷（髄液漏）
 - ・周辺血管及び組織等の損傷
 - ・疼痛
 - ・神経障害
 - ・骨折
 - ・破損片の体内遺残

インプラントの手術手技書を必ずご参照ください

4. 高齢者への適用

高齢者は一般的に骨量・骨質が低下している場合が多いため、慎重に適用し、術後管理に十分注意すること。

【保管方法及び有効期間等】

保管方法

高温多湿及び直射日光を避け、清潔で乾燥した場所で保管する。

【保守・点検に係る事項】

1. 清掃方法

- 1) 汚れが乾燥し落ちにくくなるのを防ぐため、付着した血液・体液・組織・薬品等は直ちに洗浄・消毒し、必要に応じて滅菌する。
- 2) 汚染除去に用いる洗浄剤は、洗浄方法に適したものを選択し、その適正濃度と取扱方法を守る。
- 3) 金属タワシ、クレンザー（磨き粉）等は、器具表面を損傷するので使用を避ける。
- 4) 中空構造部分は、汚れが残らないよう特に注意して洗浄する。
- 5) 仕上げすぎには、精製水・脱イオン水・ろ過水等の使用を推奨する。
- 6) ウォッシャーデイスインフェクター等の洗浄装置で洗浄する場合、可動部分は開放し、必要に応じて分解し、汚れが落ちやすい状態でバスケット等に収納して処理する。
- 7) 洗浄後は、腐食防止のために直ちに乾燥させる。乾燥には滅菌ガーゼパッドを使用でき、中空構造部分には清潔な圧縮空気を使用できる。
- 8) 滅菌前に器具が清潔で乾燥しており、適切に機能することを目視検査で確認する。
- 9) 「医療現場における滅菌保証のガイドライン 2021」に記載されている高圧蒸気滅菌条件は以下のとおり。

滅菌温度	保持時間
121℃	15 分
126℃	10 分
134℃	3 分

- 10) 「プリオン病感染予防ガイドライン 2020」に記載されている洗浄・滅菌条件は以下のとおり。
洗浄においては、アルカリ洗浄剤を用いて 90-93℃の高温で行う。ウォッシャーデイスインフェクターの使用が望ましい。工程を 2 回繰り返すことも推奨される。
滅菌においては、134℃/8-10 分の真空脱気プレバキューム高圧蒸気滅菌を行う。滅菌時間は 18 分に延長することも推奨される。

2. 点検

滅菌前及び使用前に、腐食、孔食、変色、汚れ、変形、破損、可動部の動き等を点検する。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：**村中医療器 株式会社**
TEL：0725-53-5546

